

## ○地域商業ウィズコロナ対策支援事業費補助事業を活用した取組事例 〈星置駅前商店街振興組合（札幌市）〉

### ■商店街の概要

星置駅前商店街振興組合は、平成8年4月に設立。札幌市内にあるJR星置駅北口前に広がっており、組合員数は18事業者構成されている振興組合である。

大型スーパーや美容室などで構成されているが、飲食店については過去に廃業して以来出店はなく、スーパーのフードコートも撤退してしまったため、食事を楽しむスペースや買い物後に休憩する場所がないといった状況となっていた。

年々、振興組合への参加が減少しているため、商店街のにぎわい創出の部分で問題を抱えている。



〔商店街風景〕

### ■活動事業について

この商店街が1年で最も賑わうのは、夏に開催される「きらめく星まつり」の時期である。このお祭りは、平成14年から始まり、商店街と住民が一体となって楽しめるイベントとして、星置の夏の風物詩となっている。

商店街通りが歩行者天国になり、露天やステージなどを楽しむ人で賑わいます。

10月には今年で2回目となる、「ハロウィンイベント」を開催。感染拡大防止のため、新北海道スタイルの実践を徹底。当日は、先着順

でプレゼントの配布を企画し、約1,000人もの行列ができるほどの盛り上がりとなった。若者をターゲットにしており、普段商店街を利用しないお客様が参加する事で、売り上げ増の事業者があった。

1月には、星置駅北口駅前をろうそくのあかりで彩る「まちの灯り（あかり）」を開催。手作りのアイスクャンドルが約150個が並び、幻想的な灯りで包まれた。

会場では、アイスクャンドルのほか、駅庁舎壁側に「ほしおき写真コンテスト」の入賞作品が感染対策の映像とともに投映された。



〔まちの灯り（あかり）風景〕

### ■ウィズコロナ対策支援事業の利用

令和3年に道の「地域商業ウィズコロナ対策支援事業費補助事業」を活用し、キッチンカーを誘致したイベントを開催。

ウィズコロナを見据え、今後は、「お店で食べるのではなく、自宅に持ち帰る」といった新しい生活様式に対応したビジネススタイルの導入が必要と考え、当事業を立案した。事業内容として、令和3年7月から10月の4ヶ月間、組合街区にキッチンカーによる出店と加盟店利用のレシート添付公募による抽選会を実施。その際に、新聞折り込みチラシを星置地区に配布し、キッチンカー予定表及び抽選会実施

の事業周知を図った。チラシには、「北海道スタイル実践店」と明記した事で、併せて、安心・安全な商店街としてのPRも出来た。

これだけ多くのキッチンカーを出店するのは初めての取り組みであったため、参加者を募るのに苦戦していたが、徐々に口コミが広がり岩見沢市など、遠方からの出店者も増えた。最終的には、出店者は25台となった。

各店舗の特徴として、定番商品から地元食材を使用したデザート等、幅広いメニュー構成が強み。普段は挑戦できないメニューであっても、キッチンカー販売であれば、気軽に利用する事ができることが強みとなっている。毎回、大盛況となっているが、参加者が増えることにより出店スペースの確保が新たな課題に浮上した。

現在出店しているスーパーの駐車場横スペースでは、最大3台分となっており、今後は駅前スペース等でも出店ができるよう、関係機関と調整を図る必要がある。

イベントを開催することで、コロナ禍で停滞している商店街の賑わいを取り戻し、地域の方々を元気づけるきっかけとなった。



〔ハロウィンイベント〕

## ■今後の展開

今後もキッチンカーを取り入れたイベントを開催して行く予定。2年連続中止となってしまった「きらめく星まつり」と併せて開催したい。

更に、札幌市等の補助金を活用し、「まちの灯り（あかり）」、「ハロウィンイベント」等、感染対策を実践しながら、元気な商店街として認識してもらい、地域に根付いた取り組みを実践し、今後も星置地区を盛り上げていきたい。

出店チラシの広告事業者を地元企業だけではなく、広域で参加していただけるよう引き続き募集し、チラシポスティング範囲を広げ新たな顧客確保を目指していく。

キッチンカー設置場所の確保について、今後も検討が必要となる。



〔キッチンカー〕

### 商店街の主なイベント

- ★きらめく星まつり
- ★まちの灯り（あかり）
- ★ハロウィンイベント
- ★キッチンカー誘致

取材先

■星置駅前商店街振興組合

札幌市手稲区星置1条3丁目3-10

TEL：090-5077-7408（理事長携帯）